
とちぎグリーン成長産業創出プロジェクト アクションプラン

[計画期間 2022～2030年度]

令和5(2023)年3月28日
産業労働観光部

1. 策定の趣旨等

- 「2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ」に掲げた重点プロジェクトに基づき、2030年度までの実行計画として目標との方策を定めます。

ロードマップの全体像 (一部抜粋)

2030年度 温室効果ガス▲50%削減 (2013年度比)

オールとちぎ

県民



産業

交通

業務

家庭

- **エネルギー消費の抑制**
- **地産地消型再生可能エネルギーの導入拡大**

非エネ

事業者

行政

各分野における取組を重点プロジェクトにより**牽引・加速化**

技術・製品開発や資源の循環利用の促進

再生可能エネルギーの最大限導入

脱炭素先行地域の創出

県庁が率先して大幅削減

アクションプラン (AP)

オールとちぎによる各分野の取組を牽引・加速化するための**重点プロジェクト**を県が**戦略的かつ着実に推進するための実行計画**

とちぎグリーン成長産業創出 AP

カーボンニュートラルを契機とする県内産業の成長

とちぎ再生可能エネルギーMAX AP

地域との調和や資源の積極的な活用を図った再生可能エネルギーの最大限導入

とちぎ脱炭素先行地域創出 AP

モデル地域の創出・脱炭素ドミノの展開

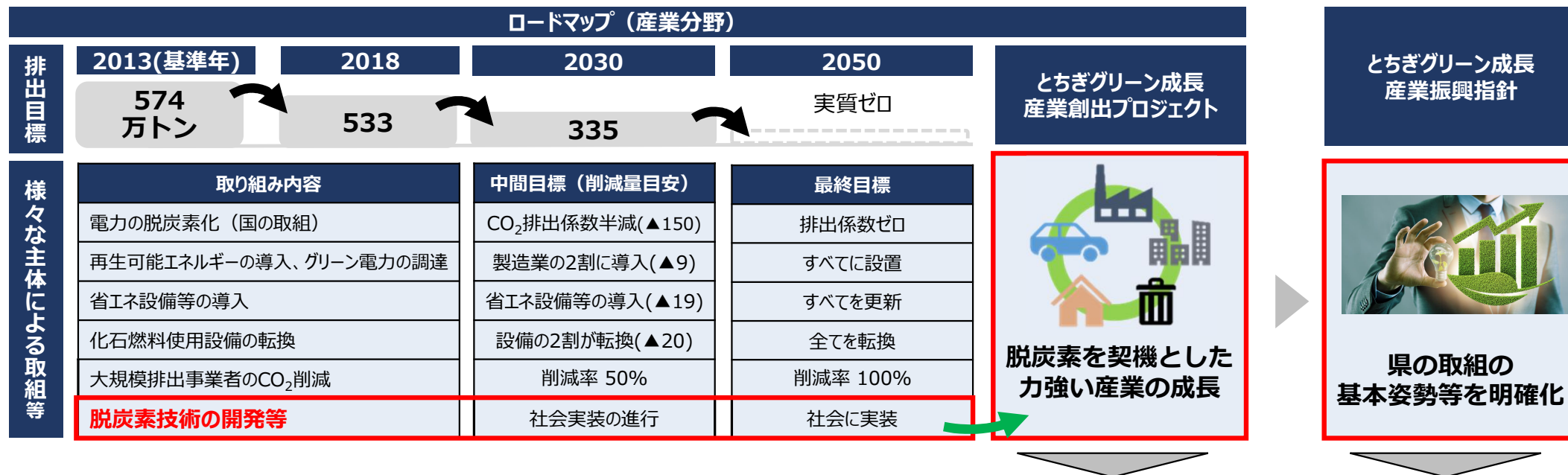
とちぎ県庁ゼロカーボン AP

県庁の温室効果ガス▲80%削減の達成

□ 本アクションプランに掲げる目標値や目標達成に向けた取組等は、今後の国のエネルギー政策や技術革新の進展等を踏まえ必要に応じ柔軟な見直しを行うほか、推進に当たっては、国庫補助金や地方債、既存基金等の活用に努め、一般財源の負担軽減を図る。

2. 策定の方向性

- ロードマップにおける、産業分野におけるCO₂ 排出量は、様々な主体による取組等により2050年までに実質ゼロを目指しています。
- 本アクションプランでは、当該取組等の一つである「脱炭素技術の開発等」について、「とちぎグリーン成長産業振興指針(以下、「指針」という。)(R4年3月策定)」も踏まえ、県と産業界における目標や具体的取組を定めることにより、重点プロジェクトが掲げる「脱炭素を契機とした力強い産業の成長」を目指します。



アクションプラン

県と産業界における脱炭素技術の開発等について目標や具体的取組を定める



電気自動車分野



航空機分野



次世代太陽電池分野



水素分野



半導体分野

...

等

3. カーボンニュートラルを契機とする産業成長に向けた県の取組の全体像

● 指針では、産業分野における県の取組の基本姿勢等を明確化し、国のグリーン成長戦略において今後の成長が期待されている14分野を3つに分類するとともに、産業政策の4つの柱と推進体制により施策を展開していくこととしています。

基幹産業

これまでの産業施策で培った技術力・ネットワーク、産業集積を生かし、更なる競争力強化を図る分野

持続的で着実な発展を支援



電気自動車



航空機

- 自動車・蓄電池産業
- 航空機産業

次世代産業

将来における市場規模等から今後の成長性や、県内企業の参入が期待される分野

次代の成長分野への挑戦を支援



次世代太陽電池



水素



半導体



マルチマテリアル（複数素材の組合せ）



バイオマスプラスチック

- 太陽光・地熱産業等（次世代再生可能エネルギー）
- 水素・燃料アンモニア産業
- 半導体・情報通信産業
- カーボンリサイクル・マテリアル産業
- 資源循環関連産業

萌芽産業

今後、将来に向け新たな産業の芽を創出する分野

新たな産業の芽の創出を支援



燃料電池船



自動運転等移動サービス



グリーン物流

- 次世代熱エネルギー産業
- 原子力産業
- 船舶産業
- 物流・人流・土木インフラ産業
- 食料・農林水産業
- 住宅・建築物産業・次世代電力マネジメント産業
- ライフスタイル関連産業

産業政策の4つの柱

- | | |
|-------------|---|
| ①機運醸成・環境整備 | 経営層等へのセミナーの開催、製造工程における脱炭素化のための専門家派遣、取組に要する資金の融資 等 |
| ②技術開発等への支援 | 自動車産業における電動化等を受けた対応方針策定のための専門家派遣、産業技術センターの機能強化、販路開拓支援 等 |
| ③新産業の創出・育成 | 今後の大きな需要拡大が見込める産業や、これまでにない新たな技術等の創出・育成への支援 等 |
| ④企業誘致・定着の強化 | カーボンニュートラル時代における再エネを活用する産業団地の実現可能性調査、インセンティブの強化 等 |
- 推進体制 産業界から意見を聴取して施策に反映するため、カーボンニュートラル実現会議のもとに産業部会を設置（PDCAサイクルの構築）

脱炭素化を契機として県内企業の競争力強化と本県産業の力強い成長（グリーン成長）につなげ、持続的発展を図る

4-1. カーボンニュートラルを契機とする産業成長に向けた県の取組

- 指針の基本的な考え方や方向性に基づき、主に中小企業を対象として、2030年までの取組の行程と目標を定めるものとします。
- 「基幹産業」については、これまでの産業施策で培ってきた技術力や強化されたネットワーク、産業集積を生かしながら、重点的に各種取組を展開していきます。

項目 分類/分野	行程										2030年の目指す姿	県の取組の方向性	目標 (支援企業数)	
	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
産業政策の 4つの柱	【機運醸成・環境整備】										【機運醸成・環境整備】 ➢ 世界のカーボンニュートラルの潮流を的確に捉え、脱炭素化の取組に着手する企業が増加している。	【機運醸成・環境整備】 ➢ 製品製造時のCO ₂ 排出量削減に向けた支援 ➢ 環境関連技術の最新動向の知識取得支援 ➢ 経営者等の意識変革に対する支援 【技術開発等への支援】 (産業分野別の技術開発の方向性は下記) 【新産業の創出・育成】 ➢ 新産業の創出に取り組む企業に向けた支援 【企業誘致・定着の強化】 ➢ カーボンニュートラルの実現に資する企業誘致・定着に向けた支援	1,100社 400社 1,200社 45社 20社	
	【技術開発等への支援】										【技術開発等への支援】 ➢ 脱炭素化の流れを新たなビジネスチャンスと捉え、技術開発等に積極的に取り組む企業が増加している。			
	【新産業の創出・育成】										【新産業の創出・育成】 ➢ 挑戦に積極的な企業の先進的な取り組みにより、新産業の創出の兆しが見え始めている。			
	【企業誘致・定着の強化】										【企業誘致・定着の強化】 ➢ カーボンニュートラルに伴い成長が期待される企業の立地や定着が進んでいる。			
【産業分野別の技術開発の方向性】														
基幹産業	自動車	実用化に向けた開発 導入拡大・販路開拓										➢ 電動化の流れに呼応し、電気自動車等関連部品製造による県内自動車産業の発展 ➢ 自動車サプライヤーの新分野進出が進み、県内企業の経営基盤が強固となることにより産業が発展	【機運醸成・環境整備】 ➢ 次世代自動車における最新動向の知識取得支援	800社 100社 500社 1,000社
	蓄電池	事業可能性調査 研究開発 実用化に向けた開発 導入拡大・販路開拓										➢ 車載用蓄電池等の市場が成長することで、関連技術の研究開発・実用化に向けた取組が加速化	【技術開発等への支援】 ➢ 脱炭素化に資する技術開発に向けた支援 ➢ 脱炭素化に資する技術の活用促進に向けた支援 ➢ 自動車産業の電動化等に向けた対応支援	
	航空機	研究開発 実用化に向けた開発 導入拡大・販路開拓										➢ 航空機部品の軽量化や新素材への転換促進、開発・製造時の温室効果ガス削減により、カーボンニュートラルに対応した航空機産業が発展		

4-2. カーボンニュートラルを契機とする産業成長に向けた県の取組

- 「次世代産業」については、挑戦に積極的な企業の掘り起こしや誘致等を行い、新たな市場の取り込みを図るための取組を展開していきます。
- 「萌芽産業」については、各分野におけるイノベーション等の動向を注視しながら、中長期的な視点で企業における機運醸成や技術開発等を支援していきます。

分類	分野	行程									2030年の目指す姿	県の取組の方向性	目標 (支援企業数)
		22	23	24	25	26	27	28	29	30			
次世代産業	次世代再生可能エネルギー										<ul style="list-style-type: none"> 次世代型太陽電池の研究開発等が進展し、市場での普及段階に向けて企業の取組が加速化 	【機運醸成・環境整備】※再掲 <ul style="list-style-type: none"> 製品製造時のCO₂排出量削減に向けた支援 環境関連技術の最新動向の知識取得支援 経営者等の意識変革に対する支援 	1,100社 400社 1,200社
	水素・燃料アンモニア										<ul style="list-style-type: none"> 水素の導入量拡大に伴い、水素を利活用する企業や関連部品等の製造企業が成長 	【新産業の創出・育成】※再掲 <ul style="list-style-type: none"> 新産業の創出に取り組む企業に向けた支援 	45社
	半導体・情報通信										<ul style="list-style-type: none"> 既存半導体や次世代パワー半導体等の技術開発が進展し、関連部品や生産設備の製造企業が成長 	【企業誘致・定着の強化】※再掲 <ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルの実現に資する企業誘致・定着に向けた支援 	20社
	カーボンリサイクル・マテリアル										<ul style="list-style-type: none"> 軽量・強靱な金属素材等の研究開発と導入・拡大によりマテリアル関連企業が成長 	【技術開発等への支援】※再掲 <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素化に資する技術開発に向けた支援 脱炭素化に資する技術の活用促進に向けた支援 	100社 500社
	資源循環関連										<ul style="list-style-type: none"> バイオプラスチック等の市場が拡大する中で、県内企業の技術開発・製品開発により関連企業が成長 		
萌芽産業	7分野										<ul style="list-style-type: none"> 2030年以降に成長が期待される新しい産業の芽が創出 		